

夏まるかじりツアー

8月10日(火) ~ 8月12日(木)

IN 国立曽爾青少年自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	名札づくり・レクリエーション	ナイトハイク
2日目	野外炊飯	選択プログラム	キャンプファイア
3日目	清掃・思い出工作	施設を出発・解散	

一日目: おはようございます！各集合場所からJR尼崎駅へ集まり、お見送りに来られた親御様に挨拶をし、バスに乗り込み、出発しました。車内では自己紹介から始まり、徐々に談笑される声が聞こえて来ました。本来なら施設の手前にある川で川遊びの予定でしたが、悪天候の影響で川遊びを断念し、室内でのレクリエーションに変更しました。まずは名札作りから始めました。完成した素敵な名札を首から下げ、これで名前も完璧に覚えられます。じゃんけん大会やダンスをしたり、グループ対抗のしっぽ取りをしたり、時間の許す限りレクリエーションを楽しみました。レクリエーション後は宿泊棟に移動し、夕飯までの間で就寝準備を進めました。初めてのベッドメイキングに悪戦苦闘されている様子が見られました。その中でグループのメンバー同士で自然と助け合いをされていて、グループとして関係性が早くも出来上がっていると感じました。食堂で夕食を済ませ、入浴後はナイトハイクへ出かけました。少し曇っていたため、星はあまり見えませんが、屋間よりも涼しさを感じたり、虫の声が聞こえてきたりと昼とは違う夜の自然を感じる事が出来ました。部屋へ戻り、盛沢山の活動に疲れもあったのか消灯後すぐに寝息が聞こえて来ました。



二日目: 朝から元気な足音がたくさん聞こえて来ました。朝ごはん作りからスタートします。メニューは、牛乳パックを使った[パックドック]です。出来上がったパックドックを大きな口で頬張る姿から、美味しいということが十分に伝わってきました。朝ごはんを片づけた後は、早速昼食作りです。内容はキャンプ定番の“カレー”です。【かまど係】、【野菜係】、【お米係】に分かれて、美味しいカレーの為に力を尽くしました。苦勞して出来上がったカレーは格別で、何度もおかわりをされ、どのグループも完食することが出来ました。野外炊事は片付けが大変です。特に鍋のスス落としはどのグループも苦勞しておられました。片付け後は“グループタイム”を行いました。各部屋で休息をしたり、体育館で体を動かしたり、施設近くの山を登ったりと、各グループ夕食までの時間を過ごしました。夜は楽しみにされていたキャンプファイアの時間です。リーダーが用意してくれたレクリエーションを楽しみ、最後は皆で練習したダンスを踊りました。終わりを惜しむほど、大いに盛り上がりました。



三日目: 最終日の朝は、掃除から始めました。お世話になった施設に感謝を込め、一生懸命に掃除をしました。清掃後は、食堂で朝食をいただきました。朝食後は、“思い出工作”を行いました。自身でバーナーを使って板を焼くのですが、初めてのバーナーを使う事に戸惑いを見せておられましたが、リーダーが見守る中、頑張っただけの味のある焼き加減に焼き上げることが出来ました。焼き板のススをたわしでしっかり落とし、キャンプの思い出の絵を描きました。昼食を済ませ、帰りのバスに乗る準備をします。施設の出発を惜しむメンバーもおられました。お世話になった施設に別れを告げ、尼崎駅へのバスに乗り込みます。疲れから休まれているメンバーも多くいました。



<キャンプ総括>

この度は、“夏まるかじりツアー”にご参加いただき誠にありがとうございました。昨年よりも多くの皆様にご参加いただき、このキャンプがとても人気なことを身をもって感じました。夏まるかじりは【ザ・キャンプ】です。特別な内容ではなく、キャンプで思い浮かぶ内容を行うからこそ、キャンプの醍醐味、グループ活動の醍醐味を感じていただけるのではないかと思います。このキャンプでデビューをし、他のキャンプに挑戦される方が多くいらっしゃいます。ぜひ、今回ご参加いただきました皆様に、これを機に様々なキャンプへ挑戦して欲しいと思います。また、皆様にお会い出来る日を楽しみにしています。

(橋本 里佳)